

## 生活科学系コンソーシアム会議（第5回）議事録

日時：平成20年9月11日（水） 13:00～15:00

場所：日本学術会議5-A会議室（1）

出席者：

コンソーシアム構成8学会より8名

国際服飾学会（佐々井啓）

日本栄養・食糧学会（加藤久典）

日本家政学会（佐々井啓）

日本家庭科教育学会（大竹美登利）

日本消費者教育学会（天野晴子）

日本食生活学会（菅原龍幸・殿塚婦美子）

日本食品衛生学会（井部明広）

日本調理科学会（長尾慶子）（敬称略）

日本学術会議 健康・生活科学委員会 生活科学分科会委員 3名

片山倫子、渋川祥子、塚原典子

（敬称略、五十音順）

事務局：渡邊（敬称略）

資料：添付資料（コンソーシアム委員名簿、第4回議事録（案）、第1回総会議事録（案））

別紙資料（シンポジウム記録、シンポジウム資料、シンポジウムアンケート集計結果、シンポジウム会計報告書、提言「食生活の教育」、平成21年度行事予定表(初回調査)）

\*会議議事次第を下記のとおり訂正後、順次議事が進行された。

議題 (1)第4回会議議事録（案）、第1回総会議事録（案）承認について

(2)コンソーシアム共催のシンポジウム（7/5開催）の報告

(3)提言「食生活の教育」の配布について

(4)生活科学分科会の状況について

(5)運営委員会設立について

(6)今後の活動等について

(7)その他：後援名義使用承認報告など

### 議事内容

#### 1. 前回(第4回)および第1回総会議事録（案）の確認（渋川会長）

メール審議で承認された議事録であるが、再度確認し原案どおり承認された。

#### 2. コンソーシアム共催のシンポジウム（7/5開催）の報告（渋川会長）

共催したシンポジウムに関する別紙資料をもとに、記録、アンケート集計結果および支出等の会計についての報告、また資料をPDF化したことなどの説明があり、資料はコンソーシアムHPにアップすることが了承された。

#### 3. 提言「食生活の教育」の配布について（渋川会長）

生活科学系分科会が公表した提言「食生活の教育」の概要の説明があり、各方面へ配布してはどうか提案がなされた。この提案に対して、コンソーシアムから支出することに対して異論を唱える学会もあったが発送先をコンソーシアムとすることを前提としてコンソーシアム会費からの支出が概ね了承された。

具体案については、渋川会長が印刷費等の見積もりを取り最終的な計画案をメール

で連絡することとした。

4. 生活科学系分科会の現況について（分科会 片山委員長）

日本学術会議第20期は9月末で終了し、第21期が10月1日より開始され、新たな分科会活動は12月ころからであることが説明された。したがって、第20期生活科学分科会としては今期の活動報告を第21期に申し送ることになった。その中で生活科学系コンソーシアムとの関係についても申し送る予定である。

5. 運営委員会設立について（渋川会長）

出席したメンバーにより運営委員会設立に対する意見交換を行った。生活科学全般を包含できるようにするためにコンソーシアムの構成学会を増やすことが重要であることを第21期に申し送ることが了承された。

6. 今後の活動等について（渋川会長）

第21期日本学術会議が10月1日に発足した後に健康・生活科学委員会の組織および活動が始まりさらに生活科学分科会の組織および活動が始まる。この時点ではじめて次期生活科学系コンソーシアムの構成メンバーが決まる手順となるので実際の分科会活動は12月以降が予定されている。

各構成学会のH21年度行事予定表の提出を受けて、コンソーシアムHPへのアップを予定している（10月中旬頃）。

7. その他

- 1) 後援名義使用承認の報告があった。
  - ・日本食生活学会第36回・37回研究集会（08/9/13、08/11/22）
  - ・日本消費者教育学会第28回全国大会（08/10/11～12）
- 2) 今年度会費未納学会への振込み依頼（2学会）
- 3) 名簿の訂正の有無の確認があった。
- 4) 次回会議は、学術会議第21期の立ち上がりを待って検討することになった。

以上

付記：議事3 提言「食生活の教育」の配布については、予定外の急な動議であったこと、さらに、予算に計上していないこともあり、生活科学分科会のメンバーの出席が少なかつたため、会議終了後コンソーシアム会長と生活科学分科会委員長の協議により、分科会委員の意見を聴取した。その結果、コンソーシアムからの印刷費の支出は中止した方がよいということになった。そのため、この結果をコンソーシアムの各委員に連絡することにした。